

今伝えたいみちのこと

道路メンテナンスは総力戦 道路の老朽化対策と防災・減災を考えます

高度経済成長期に集中的に整備された道路や橋が一斉に高齢化しています。道路の老朽化対策は喫緊の課題です。国土交通省では「道路メンテナンス総力戦」を掲げ、安全な道路の管理を進めています。

また、「東日本大震災」から3年が過ぎましたが、近い将来に発生が想定されている「首都直下型地震」や「南海トラフ大地震」への備えが必要です。ひとりひとりの大切な命を守るのは、迅速な避難と円滑な救護活動であり、それらを支える重要な役割が「道路」にはあります。

会場 **道の駅 とみざわ**

東日本大震災の記憶 パネル展

展示期間

6月18日(水)

7月5日(土)

東日本大震災の被害状況と、現在の復旧状況をご紹介しますとともに、そのとき「道路」が果たした役割などをご紹介します。



展示期間

7月6日(日)

7月19日(土)

道路の防災・減災 パネル展

近い将来に発生が想定されている「首都直下型地震」など、いざという時に備え、公助・自助が円滑に実施できるよう道路の対策をご紹介します。



道路の老朽化対策 パネル展

展示期間

7月20日(日)

8月3日(日)

道路や橋の老朽化の現状と全国で取り組みが始まったメンテナンス活動をパネルでご紹介します。

